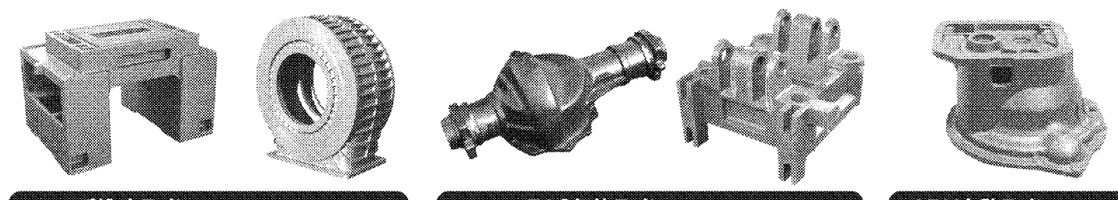
中小物製品をより早く、より安く
※塗装・機械加工も可能です



手込めライン（100～10,000kg）（2ライン）
FAS無枠ライン（50～700kg）（1400×1200×500／500）
APK自動ライン（5～80kg）（850×750×290／290）

フォルム［form］無形から有形へ　有形から無限へ
福山鋳造株式会社　http://www.fukuchu.co.jp
〒714-0048 岡山県笠岡市緑町3-2
TEL（0865）67-1221㈹　FAX（0865）67-4629

最新設備導入により短納期・高品質を追求

アルミ・銅合金鋳造部品
3DCAD-CAM、高精度5軸マシニングセンタにより
型製作～鋳造～機械加工まで一貫生産

カルモ鋳工株式会社
代表取締役　髙橋　直哉
〒651-2271　神戸市西区高塚台3－1－45
TEL(078)991-1414　FAX(078)991-1418
E-mail : mailbox@karumo.com

モノづくりを支える鋳物産業

日本鋳造工学会
第160回 全国講演大会

吹上ホール
いよいよ開幕

鋳物産業の祭典
世間一般にも魅力を伝える

日本鋳造工学会（恒川好樹会長）が主催する第160回全国講演大会が27日から4日間、名古屋市千種区の名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）で開幕する。テーマは「進化する技術きっと見つかる e-MONO in NAGOYA」。鋳造技術の最新の研究成果が発表されるほか、機械、機器、材料、型などを多岐にわたり紹介する技術展示会も同時開催され、鋳物業界の一大イベントとなる。

高品質、高性能な日本の工業製品は世界から高く評価されている。特に自動車や工作機械など、日本を代表する製品は強い国際競争力を維持している。こうした強いモノづくりを支えているのが鋳物だ。溶融した金属を鋳型に流し込み製造する鋳物やダイカストは、安価で大量に生産できる製造技術として古くから用いられてきた。現在では鋳造技術の革新により、高度な鋳造が可能になっている。

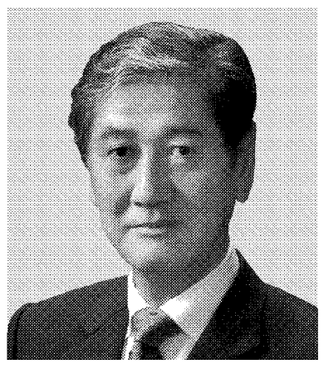
こうした鋳造技術の最新の研究成果を発表する場として日本鋳造工学会が開催しているのが全国講演大会。毎年春季と夏季の2回開催しており、今回は通算160回目となり、約150件の発表が予定されている。

同時開催の技術展示会には約80社・団体が出展し、これから進化する鋳造技術をさまざまな視点で展示する。今回は、業界だけでなく世間一般に広く鋳物をアピールするメーンテーマ展示を充実させる。身近に使われている鋳物の展示などを行いながら、鋳物の過去、現在、未来を表現。一般来場者が鋳物に親しめるよう工夫を凝らしたゾーンとする。

また、子供たちに鋳物づくりを体験してもらう「子供いもの教室」の開催や、ロボットの実演を行うなど、幅広い世代に鋳物、モノづくりの魅力を伝える。一般展示では、鋳物の開発、設計、生産、販売、環境にかかわる最先端の機械、機器、材料などを多岐にわたって展示。来場者に鋳造技術の認識を深めてもらう。

特別講演では、田中哲也経済産業省製造産業局ものづくり政策審議室長・素形材産業室長が「素形材産業を取り巻く動向について」、金子年治JR東海リニア鉄道館館長が「リニア・鉄道館で学ぶ高速技術の進化」と題し、それぞれ講演する。

開催にあたって



日本鋳造工学会
会長　恒川好樹

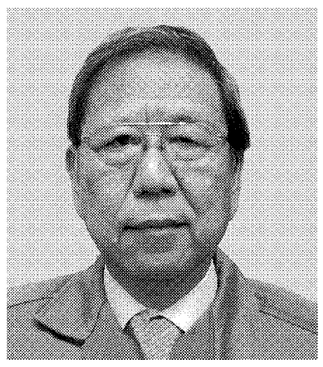
日本鋳造工学会第160回全国講演大会・展示会が、27日から30日までの4日間、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）を中心に開催されます。

鋳物づくりのグローバル化が進み、世界のどこでもほぼ同じ品質の鋳物を作ることが求められています。材料もプロセスも単純化する方向と言えば、言い過ぎでしょうか。一方で、高度な技術に裏付けられた高付加価値鋳物の作り込みが求められています。原材料から仕上げに至るまでノウハウとブラックボックスの塊りにする方向です。

グローバル化と高付加価値化に対応

何を、どれだけ作るのかを度外視しては進む方向を議論できません。鋳物づくりに携わる皆様が、明日は何を作るべきか、何が課題なのかを自らに問うていただきたいと思います。その上で課題を解決し、鋳物づくりを通じて明日も利益を得ていただきたいものです。

名古屋での全国講演大会・展示会において、何らかの「飯のタネになる元気の素」をつかみ取られることを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。



日本鋳造機械工業会
会長　渡辺高文

この環境下、あらゆる制約の中で生き抜いているお客様をはじめ、鋳機メーカー、鋳材・副資材メーカーのご苦労察するに、余りある時代となりました。

社会を根底で支える鋳物業界の機能・技術

一番は電気の問題でしょうか？　我々のお客様は電気の消費量が膨大で時間の制限を人は知恵と汗でカバーしてまいりましたが、おのずと限界があります。

これを制限されると死活問題となります。

使用電力の制限・使用とされるのですが、残念ながら社会の必要を鑑みても受け入れは難しいのが現実のようです。

どうしても、生きている地域社会の協力が必要です。

この社会を根底で支えているのは我々であり、それが我々のプライドなのです。

今回の展示会には、鋳機メーカーをはじめ、それぞれの根底に役立つものを展示しております。どうか機能・技術をご高配賜りますようお願い申し上げます。

経済産業省　製造産業局
ものづくり政策審議室長
素形材産業室長　田中哲也

日本鋳造工学会第160回全国講演大会が開催されるにあたり、心よりお慶び申し上げます。

鋳造業は、自動車や産業機械などあらゆる工業製品に使われており、我が国の「ものづくり」の根本を支える重要基盤産業です。

しかし、現在、鋳造業を含む素形材産業は、昨年の東日本大震災に伴う電力不足問題、歴史的な超円高、エネルギー価格の高騰、世界経済の減速など、非常に厳しい環境に置かれています。

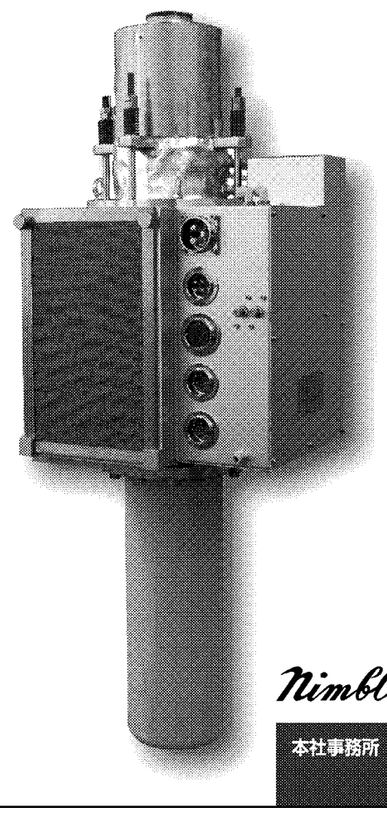
戦略的な事業展開と一層の技術力向上を

このような状況において鋳造産業の競争力を維持するためには、戦略的な事業展開並びに、より一層の技術力の向上が必要不可欠です。そのため、こうした鋳造技術の最新研究を発表する場は、非常に意義があることと考えます。

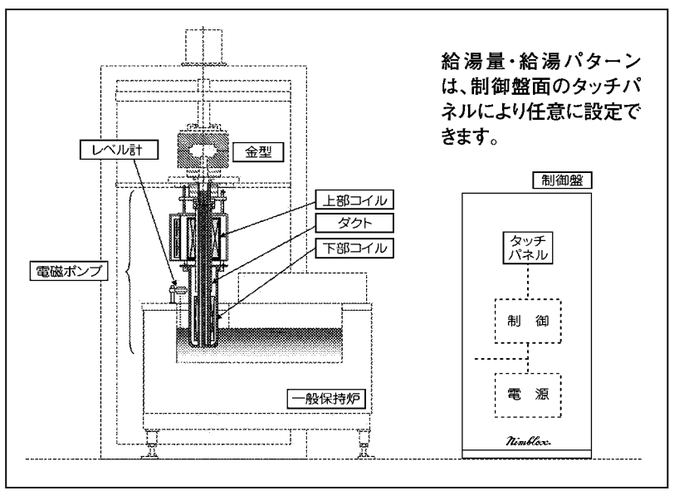
今回の企画が成功を収めると共に、今後、産学が一丸となった取り組みがますます増えることにより、鋳造及び関連産業、ひいては我が国の「ものづくり」がますます元気になることを祈念し、御挨拶とさせていただきます。

今、非常に注目されております！
アルミ用電磁ポンプ式鋳造装置

アルミ用電磁ポンプ式鋳造装置とは、アルミ溶湯を制御性に優れた電磁力を利用して直接鋳型へ給湯する装置です。



本ポンプは、電磁力駆動のため、応答性・制御性に優れ、鋳造後の湯面はポンプのダクト内に保持しているため、湯戻しが少なく、酸化物の舞い上がりが防止できます。また、鋳型に応じた給湯速度で、保持炉溶湯内部の綺麗なアルミでの鋳造を可能としました。



Nimblox 助川電気工業株式会社
本社事務所　茨城県高萩市上手綱3333-23　URL：http://www.sukegawadenki.co.jp/
TEL 0293(23)6411　FAX0293(22)2909　E-mail: webadmin@net-sukegawa.com

sinto
New Harmony ≫ New Solutions™
新東工業株式会社
〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-28-12
Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279
www.sinto.co.jp